

和歌山県・紀の川市

和歌山信愛女子短期大学の学生がめっけもん広場で調査実施 ～和歌山特産の野菜と果物で健康寿命を延ばそうプロジェクト～



【写真・左】9/21(土)座学の様子



【写真・右】10/12(土)農業体験の様子

和歌山県紀の川市（市長：岸本 健）と和歌山信愛女子短期大学（学長：森田 登志子）は、包括連携協定に基づく取組の一環として、市内に立地する農作物直売所「めっけもん広場（JA 紀の里）」において調査を実施します。

ご多忙のことと存じますが、ご取材いただけますと幸いです。

■調査の概要

日時●令和6年11月30日（土） 9：00～16：00（予定）

場所●めっけもん広場入口付近（〒649-6445 紀の川市豊田 56-3）

目的●野菜摂取量を調査することにより、野菜の消費拡大・食生活改善を訴えること

■調査の経緯

この調査は、同短大が開講する集中講義「和歌山特産の野菜と果物で健康寿命を延ばそうプロジェクト（※1）」の一環で実施されます。

「食事バランスガイド（厚労省・農水省）の遵守得点が高いほど死亡リスクが低下することが指摘（※2）されている一方、直近10年間で20歳以上の野菜摂取量が減少している（※3）現状に課題感を持ち、野菜摂取量を調査するとともに、調査協力いただいた方に学生たちが考案した野菜摂取レシピを贈呈することを予定しています。

※1 授業担当は森岡 美帆 准教授（和歌山信愛女子短期大学）ら。岡田 浩 教授（和歌山県立医科大学薬学部）にも講義を担当いただき、理論と実践の両面からプロジェクトを実施。4名の学生が受講しています。

※2 出典：国立研究開発法人 国立がん研究センター（<https://epi.ncc.go.jp/jphc/outcome/3788.html>）

※3 出典：厚生労働省「国民健康・栄養調査」（https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_42694.html）

【本件に関する問い合わせ先】

■（事業全般）和歌山県紀の川市 企画部地域創生課 担当：西川(昌)、野村 TEL：0736-77-2511

■（調査内容）和歌山信愛女子短期大学 准教授 森岡 TEL：073-479-3330（内線1407）

■調査実施までの講義内容（いずれも土曜日開催）

09/21	野菜摂取量の現状や野菜の機能性について座学。ナッジ理論についても学習し“野菜摂取を強いる”のではなく、“野菜を摂取したくなる”手法が取れないかを学ぶ。
10/12	JA 紀の里協力のもと農業体験を実施。 野菜を育てる農家（供給側）の視点を学ぶ。
11/09	調査方法や調査項目の決定。 配布するレシピの試作を実施。 ▼考案したメニュー例 （左：柿を使ったカプレーゼ） （右：柿の白和え）
11/30	めっけもん広場において来客を対象とした調査を実施予定【今回】 （於：めっけもん広場）
01/18	JA 職員や市職員を対象に調査結果や活動について報告会を開催 （於：めっけもん広場）

■その他

この取組は、紀の川市と和歌山信愛女子短期大学の包括連携に基づく事業ではありますが、紀の里農業協同組合（JA 紀の里）の協力を得て実施しています。

今回の調査では、調査日に「めっけもん広場」に並ぶ野菜類の食べ方を提案できるようにレシピが工夫されており、野菜摂取量向上のメリットを伝えるとともに、野菜類の購買を促し、地元農産物の消費拡大～農家所得向上～栽培意欲の促進といった好循環を地域に生み出す一因になればと期待しています。